



CASBEE[®]-建築(新築)

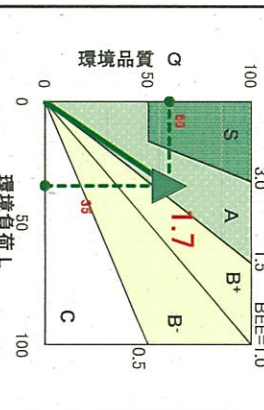
■ 使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

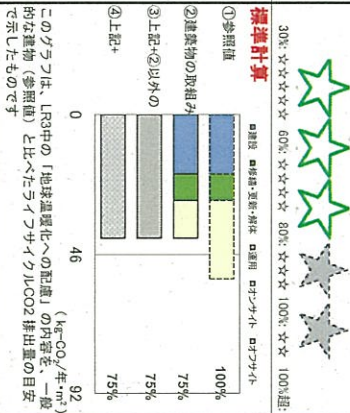
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DPL埼玉上里	階数	地上1F
建設地	埼玉県児玉郡上里町大字五明字天	構造	S造
用途地域	無指定、防火指定無	平均居住人員	30人
地域区分	S地境	年間使用時間	3,000時間/年(法定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月	評価の実施日	2018年11月20日
敷地面積	31,258 m ²	作成者	西下里美
建築面積	0 m ²	確認日	2018年11月20日
延床面積	15,294 m ²	確認者	青柳利昌
			
		住居・商業・公共 Residential/Commercial/Public Daiwa House	

2-1 建築物の環境効率(BEEラック&チャート)

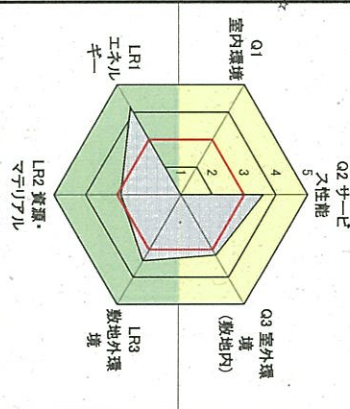
BEE = 1.7 ★★★★★★



2-2 ラインサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(ワグチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質		Q1 室内環境		Q2 サービエ性能		Q3 室外環境 (敷地内)			
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.6	Q3のスコア = 3.2	Q1 室内環境	Q2 サービエ性能	Q3 室外環境 (敷地内)	Q1 室内環境	Q2 サービエ性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
音環境	温熱環境	光視環境	空気環境	操作性	耐用性	対応性	生物環境	まちなみ	地域性
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

LR 環境負荷低減性		LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境		
LR1のスコア = 4.2	LR2のスコア = 2.9	LR3のスコア = 3.4	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5

3 設計上の配慮事項

総合		その他	
・敷地外周部に緑地を計画している ・設置する設備を最低限にし、不要なエネルギーを使わないよう配慮している。		・敷地周辺に高速度路、幹線(新幹線)があるため、周辺環境との調和を意図した。また、外部に対し交通等の支障にならないような照明計画を行った。	
Q1 室内環境		Q2 サービエ性能	
・設備を最小限にし、エネルギーの消費を抑えている。	・修繕や更新が容易に、且つ幅広く対応可能な様に配慮している。	・LEDや再利用可能なユニット部材など、環境への影響を考慮した材を使用している。	・緑地を大きく取るよう配慮している。
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
・設備を最小限にし、エネルギーの消費を抑えている。	・LEDや再利用可能なユニット部材など、環境への影響を考慮した材を使用している。	・水資源	・非再生材料の
自然エネルギー	設備スペース	効率的	廃棄物質

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q1: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ ラインサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のラインサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命・省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS DP1埼玉上里

■使用評価でニユール CASBEE-建築(新築)2016年版、()
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目

環境配慮設計の概要記入欄

評価点

重み係数

評価点

重み係数

全体

Q1 建築物の環境品質

Q1 室内環境

1 音環境

1.1 室内騒音レベル	-	-	3.0	-	-
1.2 遮音	-	-	3.0	-	-
1 開口部遮音性能	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	5.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-

1.3 吸音

2 温熱環境

2.1 室温制御	-	-	-	-	-
1 室温	-	-	-	-	-
2 外皮性能	-	-	-	-	-
3ゾーン別制御性	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	-	-	-	-	-
2.3 空調方式	-	-	-	-	-

3 光・視環境

3.1 屋光利用	-	-	-	-	-
1 屋光率	-	-	-	-	-
2 方位別開口	-	-	-	-	-
3 屋光利用設備	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策	-	-	-	-	-
1 屋光制御	-	-	-	-	-
3.3 照度	-	-	-	-	-
3.4 照明制御	-	-	-	-	-

4 空気質環境

4.1 発生源対策	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質	-	-	-	-	-
4.2 換気	-	-	-	-	-
1 換気量	-	-	-	-	-
2 自然換気性能	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	-	-	-	-	-
4.3 運用管理	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-

Q2 サービス性能

1 機能性

1.1 機能性・使いやすさ	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-
3 内装計画	-	-	-	-	-
1.3 維持管理	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-

2 耐用性・信頼性

2.1 耐震・免震・制震	3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建築物のこわれにくさ)	3.0	0.50	-	-	-
2 耐震・制震・制振性能	3.0	0.80	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数	3.0	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	3.2	0.30	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-	-	-
5 空調給排水配管の更新必要間隔	4.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-	-

2.4 信頼性

1 空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	-

用途に合わせ耐用年数の高い種類を採用した

0.43

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

3.6

3.0

0.50

3.0

0.50

3.0

0.80

3.0

0.30

3.2

0.30

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.10

4.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

3.0

0.20

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェア

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	DPL埼玉上里	BEE	1.7	BEEランク	★★★★★
------	---------	-----	-----	--------	-------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア							
3.9	+	3.0	=	6.9			
重点項目の各スコアの合計点							
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.9

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.9

大型車両・小型車両駐車場ともに、アイドリングストップを注意がけるように看板を設置した。
また、トラックパース内においても同様な内容の看板を設置した。

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 3.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア 3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア 3.0

<配慮した内容を記述>
出来る限り緑地を広く取り、緑の量が増えるよう配慮した。

: 入力欄